

祝

世界遺産登録



田島弥平旧宅



伊勢崎市誕生10周年記念事業・世界遺産登録記念イベント

世界遺産を活用したまちづくり

日時 2014年8月1日(金) 13:00 受付開始

会場 境総合文化センター
(所在地：伊勢崎市境木島818)

参加費無料

※事前の申込は不要です。
直接会場にお越しください。

プログラム

- 13:30 開会
八木節「上州島村」上州島村 新地八木節愛好会
- 14:00 基調講演1 「住民が支える文化遺産」 矢野 和之氏
- 15:00 基調講演2 「あの島村に、行こう」 大下 茂氏
- 16:00 休憩
- 16:10 パネルディスカッション「世界遺産を活用したまちづくり」
伊勢崎市境島村まちづくり推進会議委員ほか
- 17:00 閉会



案内図

主催：伊勢崎市、伊勢崎市教育委員会

問い合わせ

伊勢崎市企画部企画調整課 〒372-8501 群馬県伊勢崎市今泉町二丁目410
TEL.0270-27-2707 FAX.0270-23-9800 E-mail:kikaku@city.isesaki.lg.jp



基調講演 1 講師

矢野 和之 氏

(株)文化財保存計画協会
代表取締役

武蔵工業大学(現東京都市大学)建築学科卒業、同大学院修了。日本イコモス国内委員会事務局長。加賀市伝統的建造物群保存審議会委員。

文化遺産の保存活用の調査・計画・設計管理の専門家として幅広く活動している。著書として「空間流離(建知出版)」「歴史を未来につなぐまちづくり・みちづくり(学芸出版社・共著)」等



基調講演 2 講師、 パネルディスカッションコーディネーター

大下 茂 氏

帝京大学経済学部 観光経営学科 教授、
まちづくりラボ・サルベージ(株)相談役
地域経営の達人(総務省)・
地域活性化伝道師(内閣府) 認定

長岡技術科学大学大学院修士課程修了。東京工業大学大学院博士課程修了。博士(工学)、技術士(建設部門・都市及び地方計画)。

「集客」を研究テーマとして、地域づくり、まちづくりの分野において実践的な業務に携わっており、群馬県内では、伊勢崎市境島村をはじめ、甘楽町、みどり市大間々等の観光まちづくりや景観まちづくりに関わっている。著書として『行ってみたいと思わせる「集客まちづくり」の技術(学陽書房)』『観光経営学(朝倉書店・共著)』等

上州島村 新地八木節愛好会

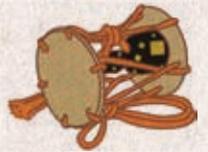


私たち“上州島村 新地八木節愛好会”は、地元住民が“田島弥平旧宅”の世界遺産登録活動の更なる盛り上がり住民の団結及び娯楽を目指して2012年12月に会を立ち上げて活動を開始しました。

まだ出来たばかりの未熟なチームですが“情熱”だけはどこのチームにも負けないつもりです。

地元島村の自然や文化、それに養蚕業の歴史を織り込んだオリジナル歌詞で八木節“上州島村”を演奏します。

今後とも活動を継続しますので島村へお越しの際には私たちの八木節にも注目して下さいようご案内とお願いを申し上げます。



代表 町田 明美

八木節 上州島村

前 ご来場なる 皆様方へ

平に御免を こうむりまして

何か一節 読み上げます

語る芸題は 何かと問えば

皆も良く知る 蚕の産地

群馬伊勢崎 境の南

上州島村 輝く歴史だ

オオイサネー

三 上州島村 お国の宝

開国日本の 大事な時に

殖産興業 大役務め

養蚕技術の 改良 改革

日本中から 集まる生徒

お国の為にと 親切指導

産業日本の 千両役者

一 上州島村 蚕の産地

赤城榛名を 屏風に変えて

利根の流れを 両手で抱く

前は武蔵野 都へ続く

絹の国への 大手の門だよ

明治大正 昭和の御代は

繭の生産 日本一よ

四 上州島村 世界の遺産

江戸の時代の 建物残し

今の世までも 大事に守る

田島弥平の その旧宅は

養蚕農家の 日本の原形

自然の換気を 上手に生かし

繭は豊作 世界の宝

二 上州島村 日本の名勝

広い河原に 子牛が遊ぶ

流れに浮かぶは 渡し船だよ

赤城山から 吹き来る風で

空に舞い飛ぶ 奴ダコだよ

見渡す畑は 桑葉の海で

聞こえるのは

機(ハタ)織る音だよ

五 上州島村 野菜も御座る

ヤマト長ネギ 畦道かざる

自然の恵みを いっぱい浴びて

健児は育つよ 雄々しき姿

仰ぐ先達 気高く見えて

文化の息吹は 脈々流れる

誇れ郷土の 島つ子達よ

六 上州島村 春ともなれば

右往左往の 毎日続く

桑を喰え喰え 与らねばならぬ

カカア天下の 出番となれば

家を支える 大黒柱

白いダイア(繭)の 収穫迎え

今年もチョウ(蛾)付け

無事終るよ

七 上州島村 小さいけれど

富に恵まれ 才智に深く

文人墨客 防人來たり

話しておきたい 斉藤弥九郎

越中富山の 農家に生まれ

神道無念の 剣客なれば

たみ(村民)の暮らしを

太刀にて守る

後 お聞き下さる 皆様方へ

もつとこの先 読みたいけれど

先ずはここで 留め置きまして

ご縁あるなら 又の機会に

伺いますのが オオイサネー

